

10月5日：銀行、証券が牽引し反発

昨日は国内投資家の旺盛な買い需要が銀行、証券セクターの大幅な上昇を伴い、ホーチミン市場のVN指数は914.68ポイントで引けた。

304銘柄が上昇したのに対し下落は120銘柄で、同指数は前日から+4.77ポイント、0.52%上昇した。

出来高は前日比-13.5%の4億5,610万株、売買代金は同+15%の7.3兆ドンとなった。8,485億ドンのクロス取引があった。

大型株で構成されるVN30銘柄の中では、17銘柄が上昇したのに対し、コングロマリットのビンググループ (VIC)、乳業のビナミルク (VNM)、格安航空のベトジェット (VJC)などを含む9銘柄がわずかに下落した。

銀行と証券株が市場を牽引し、CTG、VPB、EIBなどは2%以上の上昇となった。

サコムバンク (STB)は、2,260万株の商いを伴って活発に売買された。

VND、VDSを含む証券株は、株価がこの日の上限まで買われた。鉄鋼のホアファット (HPG)、消費のマサン (MSN)、電力のペトロベトナム・パワー (POW)なども大幅に上昇した。

不動産デベロッパーのFLCは5.3%上昇して引け、出来高は2,860万株と活況だった。

ハノイ取引所でも銀行、証券株が市場を牽引し、HNX指数は4日続伸し、2.28ポイント (1.69%) 上昇し137.19ポイントで引けた。

アジアコマーシャルバンク (ACB)が1,280万株の出来高を伴って高値引けとなった。

石油化学のPVS、PVD、鋳工業のVCSなどのブルーチップが上昇に寄与した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。